

## 1. 政府広報について

Q1. なぜ、今回の政府広報（テレビ CM、新聞広告など）を実施したのか。

(回答)

今回の広報は、政府（国）が実施したものです。政府からは「北朝鮮によるミサイル発射が繰り返される中、もしミサイルが落下した時に身を守るために国民の皆様にとっていただきたい行動に関して、国民の皆様の理解をより一層進めるために実施した」と聞いております。

Q2. なぜ、このタイミングで実施したのか。

(回答)

今回の広報は、政府（国）が実施したものです。  
政府からは「ミサイルが落下した時に身を守るために国民の皆様にとっていただきたい行動に関して、これまでも内閣官房のホームページ（国民保護ポータルサイト）などを通じた周知を図っていますが、より一層、国民の皆様の理解を進めることが重要であることから実施した」と聞いております。

## 2. 北朝鮮のミサイルについて

Q3. 北朝鮮によるミサイル発射の現状はどうなっているのか。

(回答)

北朝鮮は、過去に例を見ない頻度でミサイルを発射しており、平成28年8月以降、ミサイルが日本の排他的経済水域（EEZ）内に落下する事例も起こっています。

Q4. ミサイルは、発射から何分位で日本に飛んでくるのか。

(回答)

北朝鮮からミサイルが発射され、日本に飛来する場合、極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。

具体的な時間は、ミサイルの種類や、発射の方法、発射場所などにより異なりますが、例えば、昨年2月7日に、北朝鮮西部から発射されたミサイルは、約10分後に、約1,600Km離れた沖縄県の先島（さきしま）諸島上空を通過しています。

### 3. 情報伝達・Jアラートについて

Q5. 実際、本市（町・村）では、どのように情報伝達が行われるのか。

（回答）

ミサイルが日本に飛んで来る可能性がある場合には、政府が、24時間いつでも「Jアラート」（全国瞬時警報システム）を使用して、注意が必要な地域に緊急情報をお伝えします。

本市（町・村）では、□□□□、△△△△を自動的に起動させて、（国民保護サイレンと）緊急情報が流れるほか、携帯電話（スマートフォンを含む。）に緊急速報メールが届きます。

Q6. 「Jアラート」とは何か。

（回答）

Jアラートとは、「全国瞬時警報システム」を簡略にした呼び方です。

国から、ミサイル情報や緊急地震速報、津波情報など、時間的余裕のない緊急情報を注意が必要な地域に送信し、市町村等に設置されている防災行政無線のスピーカーや、コミュニティFM、登録制メールなどを自動的に起動させて、瞬時に伝達するシステムです。

Q7. Jアラートでは具体的にどこから情報が伝わるのか。

（回答）

市町村によって異なりますが、一般的には、市町村の

- 防災行政無線の屋外スピーカー・屋内受信機
- 登録制メール
- ホームページ
- ツイッターやフェイスブックなどのSNS
- コミュニティFM
- ケーブルテレビ

などがあげられます（詳しくは、お住まいの市区町村などにお問い合わせください。）。また、携帯電話（スマートフォンを含む。）に緊急速報メールが届きます。

Q 8. これまで J アラートにより弾道ミサイルに関する情報伝達を行った実績はあるのか。

(回答)

北朝鮮が「人工衛星」と称する弾道ミサイルを発射した平成 28 年 2 月 7 日と平成 24 年 12 月 12 日に、それぞれ「ミサイル発射情報」と「ミサイル通過情報」を、J アラートにより、沖縄県に伝達しました。

Q 9. 最近北朝鮮から何度もミサイルが発射されているのに、J アラートで情報が伝達されていないのは、なぜか。

(回答)

J アラートは、ミサイルが日本の領土・領海に落下又は通過する可能性がある場合に使用します。

逆に、その可能性がないと判断した場合には、J アラートは使用しません。

Q 10. ミサイルが発射されて、何分位で、J アラートから情報が発信されるのか。

(回答)

具体的な時間は、ミサイルの種類や、発射の方法などにより異なりますが、例えば、昨年 2 月 7 日の 9 時 30 分頃に、北朝鮮西部から発射されたミサイルについては、9 時 34 分に、国から J アラートによる情報発信をしております。

#### 4. ミサイル落下時の身の守り方について

Q 1 1. どのような所に避難すれば良いのか。

(回答)

近くのできる限り頑丈な建物や、地下街、地下駅舎などの地下施設に避難してください。

Q 1 2. なぜ頑丈な建物や地下へ避難するのか。

(回答)

ミサイルが落下した時の爆風や破片などによる被害を避けるためには、屋内（できれば頑丈な建物）や地下街、地下駅舎などの地下施設への避難が有効だからです。

Q 1 3. 避難する際には、避難施設として都道府県知事に指定されている頑丈な建物や地下施設に避難しなければならないのか。

(回答)

避難施設として指定されているかどうかにかかわらず、近くの頑丈な建物や地下施設に避難してください。

Q 1 4. 自宅（木造住宅）にいる場合は、どうすれば良いのか。

(回答)

すぐに避難できるところに頑丈な建物や地下（地下街、地下駅舎などの地下施設）があれば、直ちにそちらに避難してください。

それができない場合は、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q 1 5. 建物内に避難してから気を付けることはあるか。

(回答)

爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q16. 近くに頑丈な建物も地下もない場合には、どうすれば良いのか。

(回答)

爆風や破片などによる被害を避けるために、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。

Q17. 頑丈な建物内にいる場合には、何もしなくて良いのか。

(回答)

爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q18. ミサイルの情報が伝達されたとき、自動車の車内にいる場合は、どうすれば良いのか。

(回答)

車は燃料のガソリンなどに引火するおそれがあります。

車を止めて頑丈な建物や地下（地下街、地下駅舎などの地下施設）に避難してください。

周囲に避難できる頑丈な建物や地下施設がない場合、車から離れて、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。

Q19. 車から出ると危険な場合は、どうすれば良いのか。

(回答)

高速道路を通行している時など、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機してください。

Q20. 近くにミサイルが落下した場合は、どうすれば良いのか。

(回答)

屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難してください。

屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。

## 5. 「国民保護サイレン」について

Q 2 1. 国民保護サイレン音はどのような時に鳴るのか。

(回答)

Jアラートを使用すると市区町村の防災行政無線などが自動的に起動し、屋外スピーカーなどから、ミサイルなどの緊急情報が流れますが、この時に原則として国民保護サイレンが鳴ることとなっています。

Q 2 2. ミサイル情報を伝達する緊急速報メールの着信音は、国民保護サイレンなのか。

(回答)

津波や火山情報などに関する緊急速報メールの場合と同じ着信音です。  
国民保護サイレンではありません。

## 6. 緊急速報メール等について

Q23. 全ての携帯電話（スマートフォンを含む）がJアラートの緊急速報メールを受信できる訳ではないと聞いたが、どうなのか。

（回答）

携帯電話のほとんどが、緊急速報メールを受信できますが、製造が古いものや、いわゆる格安スマホの一部など、受信できないものがあります。

そのため、お持ちの携帯電話が受信可能かどうかの確認方法と、受信できない（又は受信できるか分からない）場合の対策を、消防庁が公表して改善を呼びかけております。

（注1）確認方法については、問24の回答を参照。

（注2）対策については、問25の回答を参照。

Q24. 持っている携帯電話（スマートフォンを含む）がJアラートの緊急速報メールを受信するかを確認するためには、どうすれば良いか。

（回答）

契約をされている携帯電話会社に、お問合せください。

なお、携帯大手事業者（NTTドコモ、KDDI・沖縄セルラー、ソフトバンク）については、各社のホームページに受信可能な機種が掲載されています。

Q25. 持っている携帯電話・スマートフォンが緊急速報メールを受信することができないが、どうすれば良いか。

（回答）

民間事業者が無料で提供している

○スマートフォン用アプリ

○スマートフォン以外の携帯電話用のメール配信サービス  
があります。

詳しくは、消防庁のホームページでご確認ください。

Q26. 携帯電話会社に問い合わせたが、受信できるのか、よく分からない、どうすれば良いか。

(回答)

民間事業者が無料で提供している

- スマートフォン用のアプリ
- スマートフォン以外の携帯電話用のメール配信サービスがあります。

受信できない場合に備えて、こちらをご活用ください。

詳しくは、消防庁のホームページでご確認ください。